

平成23年度当初予算要求通知のポイント

平成22年9月22日

千葉県総務部財政課

043-223-2076

平成23年度当初予算の編成方針について、本日、庁内各部局に通知しました。その概要は以下のとおりです。

1 本県の財政状況について

平成22年度は、9月補正段階で地方交付税を108億円計上留保していますが、これは退職手当債などによる135億円の財源対策を講じた上でのものであり、実質的には27億円の財源不足が生じている状況です。

平成23年度においては、歳入では、実質的な地方交付税についておおむね22年度並みの収入が見込めるものの、県税収入については平成19年度の税源移譲以降、最低の水準に落ち込んだまま、依然として回復が期待できない状況です。

一方、歳出においては、社会保障費が自然増などで110億円程度、公債費が60億円程度増加するなど、歳出全体としては大幅な増加となる見込みです。

このため、年間収支は、現時点で220億円程度の財源不足が生じる見込みであり、依然として大変厳しい財政状況が続いています。

さらに、24年度以降は、地方交付税の見通しが不透明であることや、社会保障費・公債費などの義務的経費が増加していくことを踏まえ、地方債の抑制などによりできる限り後年度負担を軽減し、持続可能な財政構造の確立に努めることが必要です。

2 予算編成の基本的考え方

- 総合計画「輝け！ちば元気プラン」の着実な推進
- 現下の経済・雇用情勢など、緊急的課題への的確な対応
- 安定した財政基盤の確立に向けた行財政改革の推進

(1) 総合計画「輝け！ちば元気プラン」の着実な推進

総合計画「輝け！ちば元気プラン」で掲げた基本理念「暮らし満足度日本一」と3つの基本目標の実現に向け、同計画に基づく施策を着実に推進することとし、特に、成田国際空港や東京湾アクアラインをはじめとする本県の持つポテンシャルを活かした、千葉県の魅力発信や地域経済の活性化については積極的な取り組みを進めます。

(2) 現下の経済・雇用情勢など、緊急的課題への的確な対応

依然として厳しい経済・雇用情勢など、県民ニーズの高い緊急的な課題に対しては的確に対応します。その際、21年度までに国の経済対策により積み立てた基金についても、効果的な活用を図ることとします。

(3) 持続可能な財政構造の確立に向けた行財政改革の推進

持続可能な財政構造の確立に向け、21年度に策定した「千葉県行政改革計画・財政健全化計画」に基づき、行財政改革の推進に努めることとし、あわせて、不適正な経理処理の根絶のため、適切な予算計上を行います。

3 要求基準について

(1) 義務的経費については、精査の上、年間所要額を計上することとします。

(2) 義務的経費以外の経費については、以下のとおり取り扱うこととします。

区分		要求枠	留意事項
経常的経費	物件費	年間所要額	継続分（特に所属運営費）については、実績を踏まえ過大・過小計上としないようにすること 新規・拡充分については個別に内容審査すること
	維持補修費		公の施設の見直しや庁舎の有効活用（統廃合含む）の視点も考慮しつつ、計画的な整備を行うこと
政策的経費	その他消費的経費（補助金・交付金・委託料）	年間所要額	スクラップ・アンド・ビルドの徹底により総合計画の実現に向けた財源を確保するため、 <u>既存の事務・事業については、前年度予算額に対し▲5%以上の見直し（減額）を行うこと。</u> 各部局において <u>見直しを行った額の範囲内で、総合計画に掲げる施策など、新規事業・重点事業への要求を可能とすること。</u>
	普通建設事業費		
その他の経費		年間所要額	特別会計への繰出については、特別会計内の収支について一般会計の要求基準に準じて精査の上、所要額を見込むこと

4 要求書の提出期限

平成22年10月8日（金）